



赤穂市部活動地域展開通信を発行します。この通信では、「部活動地域展開ってこれからどうなるの?」といった疑問を持っている生徒の皆さんや保護者の方に、部活動地域展開の様々なニュースを随時発信していきます。

部活動最後の赤穂市総体開催

先日、赤穂市中学校総合体育大会の各競技が、各学校からの部活動と認定地域クラブ団体が参加して、市内各地で開催されました。

私が訪れた卓球、バレーボール、軟式野球の会場でも熱戦が繰り広げられていました。バレーボールでは認定地域クラブ2チームと部活動の2チームの計4チームで争い、大変な盛り上がりでした。勝利して、西播大会へと駒を進められた人もいれば、力及ばず、市内大会で敗退した人もいますが、あらためて、それぞれの競技に一生懸命取り組むことの素晴らしさを感じました。練習の成果を見事に発揮し、試合に勝って喜ぶことも、力及ばず敗れて涙することも、生徒の皆さんにとっては何にも替え難い素晴らしい経験です。その一つ一つを皆さんの力にしてほしいと願います。

仲間と共に

天候の関係で、屋内競技と屋外競技が別日に開催されたこともあり、バレーボールの会場には、他の競技に参加する生徒が応援する姿が見られました。点差がついて、劣勢の試合展開にもかかわらず、最後のワンプレーまで大きな声で自分の学校の仲間を応援する姿が印象的でした。また、試合開始からずっと控えだった選手が、最後にピンチサーバーとして出場の機会を与えられたときのチームメイトの温かく声をかける姿や、ケガのため試合には出場できない生徒が仲間のために必死に声を出す姿、そういった姿に仲間と共にその競技に打ち込むことの素晴らしさを感じました。これからは地域展開が進み、このようなあたたかい雰囲気が赤穂市に広がっていくことを期待します。

部活動を支えた先生方、保護者の方、地域の方

訪れた会場では、この4月に異動された先生が新たなチームを指揮し、3月まで自分が指導していたチームと対戦していました。自ら大きな声でチームを鼓舞し、励ましている姿がありました。4月から、わずか3か月という時間ですが、目の前の生徒たちと向き合って、濃密な3か月間を過ごしてきたことがよく分かりました。

これまで長きに渡って中学校の部活動を運営してくださった先生方、本当にありがとうございました。生徒たちとともに汗を流し、大会で涙したり、喜び合った経験は生徒たちの財産となったことでしょう。また、各学校の部活動を支えてくださった保護者の

皆様、部活動指導員として携わってくださった地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

先生方のなかには、これからも認定地域クラブ団体の指導者として、また中体連大会の運営役員としてお世話になる方もたくさんいます。今後ともよろしくお願いいたします。

最後の大会にかける中学生の思い

軟式野球開会式での、有年中学校野球部主将、上山晃史郎さんの選手宣誓を紹介します。最後の大会にかける思い、仲間や支えてくれた方への思いをこのように語っていました。



宣誓

僕たちにとって、この赤穂市中学校総合体育大会軟式野球大会は、特別な思いで迎える大会です。

これまで、多くの先輩方が受け継いでこられた中学校の部活動は、地域へと移行していく新しい形に変わります。そして僕たちは、中学校の部活動としてこの大会に出場する最後の選手たちです。

放課後のグラウンドに響く仲間の声。励まし合いながら積み重ねてきた練習の日々。勝ったときの喜びも、負けたときの悔しさも、そのすべてが僕たちを成長させてくれました。

僕たちが今日ここに立てているのは、いつも支えてくれた家族、温かく見守ってくださった地域の皆様、そして、熱心にご指導くださった先生方のおかげです。毎週送り迎えしてくれたこと、朝早くからおいしいお弁当を作ってくれたこと、泥だらけのユニフォームを洗ってくれたこと、しんどい時にいつもそばにいてくれたこと。たくさんの支えがあったから、僕たちは今日まで野球を続けることができました。心から感謝しています。

(中略)

今日、僕たちは、その学びと伝統への感謝を胸に、一球一球に思いを込め、仲間を信じ、相手を敬い、この仲間と野球ができる喜びをかみしめながら、最後の一球まで正々堂々と全力でプレーすることを誓います。

令和8年6月28日

選手代表 有年中学校野球部主将 上山 晃史郎

認定地域クラブ活動へ

そんな部活動の意義は、これから認定地域クラブ活動へと引き継がれていきます。学校の部活動から、地域へと展開していくことで、これまでと同じように活動することが難しい部分もあります。それでも、赤穂市の中学生のために、地域の方々が現在46もの認定地域クラブ団体を立ち上げてくださっています。すでに活動しており、赤穂市総体にも出場した団体もあれば、現在メンバー募集中で、これから動き出そうという団体もあります。どのような認定地域クラブがあるのか、どのように活動していくのか、まずは皆さんに知っていただきたいと思います。裏面のQ&Aを確認してください。

部活動地域展開どうなる？Q&A

Q どんな地域クラブ団体がありますか？

A 現在（R8 7/1 現在）、46 の認定地域クラブ団体（運動系 32 団体、文化系 14 団体）があります。詳しくはこちらの QR コードからご確認ください。

認定地域クラブ活動 一覧表 ⇒



Q 認定地域クラブに入りたいのですが、どうすればよいですか？

A 上の QR コードから見られる「認定地域クラブ活動 一覧表」の連絡先へご連絡ください。

Q 活動時間はどうなりますか？

A 各認定地域クラブによって違います。平日は 2 時間×4 日、土日は 3 時間×1 日の週 11 時間以内が基本です。平日に活動しないクラブは、土日両日とも活動するクラブもあります。

また、活動開始時間については、学校施設で活動する場合は各学校の下校時間の後になります。

Q 夏休みなど長期休業期間中の活動時間はどうなりますか？

A 認定地域クラブによっては、午前中や日中に活動するクラブもあります。詳しくは各認定地域クラブに確認してください。

Q 放課後、認定地域クラブの活動に参加するために、学校から自転車で活動場所へ移動することはできますか？

A できます。朝から学校に自転車を持ってきて（徒歩通学生は自転車を押して）、放課後に直接活動場所に自転車で移動することはできます。なお、中学校には事前にその旨を連絡してください。また、移動中の事故等を保障する「スポーツ安全保険」等の保険に加入しておいてください。

Q 複数の認定地域クラブに所属したいのですが可能ですか？

A 可能です。複数のクラブに所属し、活動することもできます。

ただし、中体連の大会に出場する場合は、複数の団体や種目で出場することはできません。いずれか 1 競技、1 団体からの出場となります。

Q 中学 3 年生ですが、これから認定地域クラブに入れますか？

A 3 年生は参加できないということはありませんが、詳しくは各クラブへお問い合わせください。



その他、部活動地域展開については、赤穂市の HP に詳しく掲載しています。この紙面では載せられていない Q&A もあります。こちらからご参照ください。

赤穂市ホームページ 部活動地域展開について ⇒



お問い合わせ：赤穂市教育委員会 学校教育課（0791-43-6860）